

道守ふくおか会議(福岡県南地区)等 意見交換会が開催されました。

初夏の爽やかな風薫る、5月20日(金)に福岡県柳川市内の『柳川総合保健福祉センター 水の郷』において、現在、福岡県内で活動している団体が多いこともあり、今回、県内をブロック単位に分け、初めてとなる「道守ふくおか会議(福岡県南地区)等 意見交換会」が開催されました。

当日は県南地区を中心に活動されている道守、ボランティア・サポート・プログラムの方々や各行政機関の関係者、約50名が集まり、道守九州会議の現状説明、各出席団体からの活動報告などに加え、今後の活動について、困っていること、新たに取り組んでいること、行政に対する要望など、活発な意見交換を行いました。

☆今回、意見交換会にご出席頂いた方々

種別	団体名
道守	道守柳川ネットワーク
道守	道守大川ネットワーク
道守・VSP	よしいコスモス街道実行委員会
道守	はかた夢松原の会
道守	道守ふくおか会議
VSP	不知火町公民館
行政	久留米市
行政	柳川市
行政	大川市
行政	うきは市
行政	福岡県南筑後県土整備事務所
行政	九州地方整備局 道路部
行政	福岡国道事務所



意見交換の場では、出席者の多くの方が当初、遠慮がちに発言されていましたが、会議も終盤に差し掛かる頃には、道守、ボランティア・サポート・プログラムの方々の『道』に対するそれぞれの熱い思いがあふれて、予想以上の白熱した議論が交わされました。

議論のなかでは、各活動に対する行政側の理解やサポートを求める声や、普段、関わることのない他団体との交流を持てたことに対する感謝の言葉なども聞かれ、私たち行政側にとっても、今後の道守活動をサポートしていくにあたり、大変貴重な意見を聞けたと思います。また、今後もブロック単位の意見交換会を続けていく必要性を感じました。

道守ふくおか会議（福岡県南地区）等 意見交換会

☆意見交換会において、出された意見の紹介

- ・ボランティア活動はできる人が、できることから行う。
- ・行政側も自ら汗をかいてサポートをしてもらいたい。
- ・今回のように県南地域における他団体との交流も大事にしたい。
- ・活動資金には限りがある。
- ・活動資金、行政側のサポートの有無に関わらず、活動をやり続けたい。
- ・ボランティア活動を健全な若者を育てる場としたい。
- ・地元を訪れる人にその良さをわかってもらえるような活動を続けたい。
- ・秋に吉井コスモス街道の現地視察を行いたい。

